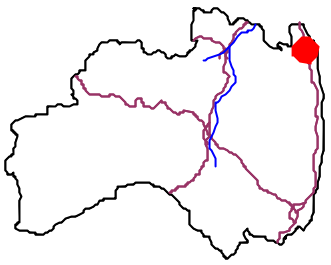
強い東北の創造　**グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

事業名	一般国道6号　相馬(そうま)バイパス（直轄） （福島県相馬(そうま)市～相馬(そうま)郡新地町(しんちまち)）
事業着手：昭和６２年度	**完成・供用の目標年度：**平成１７年度部分供用予定

事業の必要性・事業の概要

福島県

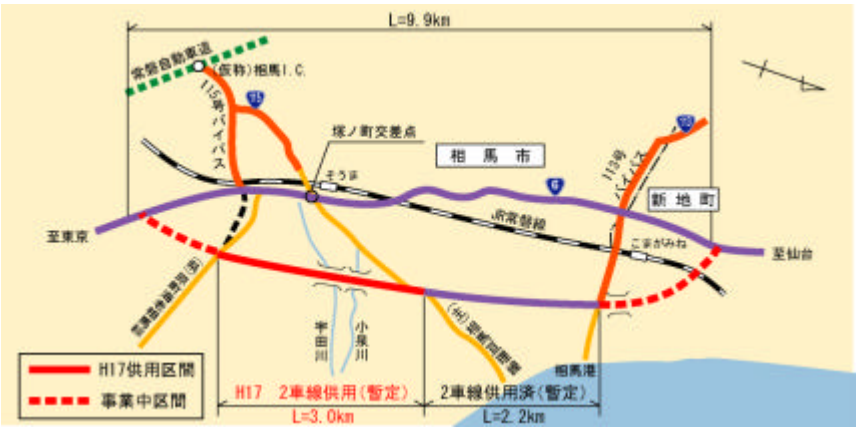


事業の必要性」

一般国道6号における相馬市街地区間は、福島県相双(そうそう)地方生活圏で最も渋滞損失が大きくなっているほか、沿道交通環境が悪化しており、早急な対策が必要となっています。

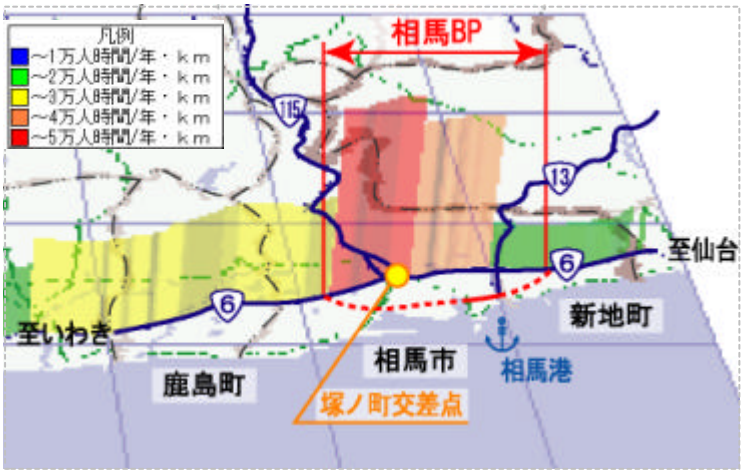
事業の概要」

相馬バイパスは、当該区間における一般国道６号の交通混雑の解消及び沿道の交通環境改善を図るとともに、常磐自動車道の相馬ICと重要港湾相馬港へのアクセス強化を目的とした延長９．９kmのバイパス事業です。





▲ 塚ノ町交差点における渋滞の状況



▲ 渋滞状況３Ｄマップ（H15調査結果）

順位	市町村名	渋滞損失時間（万人時間/年）
1	相馬市	34.8
2	大熊町	32.5
3	原町市	29.7
4	富岡町	25.7
5	双葉町	21.0
⋮		

▲ 相双地方生活圏における市町村別の渋滞損失時間（H15調査結果）

平成１７年度事業費及び事業内容

○ 事業費：2，730百万円
○ 改良舗装工事を推進し、一部区間Ｌ＝３．０kmについて２車線供用を図る予定です。

事　業　効　果

○ 主要渋滞ポイント塚ノ町交差点の混雑解消
渋滞長　３５０m（現況）　→　９０m（全線供用後）